

原原高等学校	教諭	田中	光雄
須賀川高等学校	〃	宗像	善二
東白川農商高等学校	〃	小針	衛
喜多方商業高等学校	〃	菊地	義男
平商業高等学校	〃	斎藤	晃一
勿来高等学校	〃	鈴木	勝彦
白河第二高等学校	〃	大谷	忠義
平第二高等学校	〃	中島	武彦

- 研修期間 8月2日～31日 30日間
- 研修派遣先 東京都立商業教育共同実習所
株式会社 黒沢商店（東京都）
- 研修内容
 - ┌ 事務管理ならびに事務システム理論
 - ├ 事務機械の実技・演習
 - └ 事務機械使用事業場見学

第8節 へき地教育

へき地は、自然的、経済的、文化的諸条件に恵まれていない。その上へき地学校においては、施設設備がふじゅうぶんで、教材教具の充実率も低位にある。

また、児童生徒はへき地という環境条件のもとで経験領域も狭く、その上単級や複式学級において学習しているのである。へき地の学校に勤務する教職員の研修のために、本年度実施した、小規模校研究協議会、文部省指定へき地研究学校発表会、東日本へき地指導者講座、山村教育研究会を開催した。これらの行事にへき地学校勤務の教職員が多数参加され、熱心に研修され多大の成果をおさめることができた。以下それらの行事について、概略を述べる。

1 小規模学校研究協議会

- (1) 期日 6月7日、8日
- (2) 会場 平市立平第三小学校
- (3) 趣旨

小規模学校の経営について、とくに学習指導と管理上の問題の研究協議を行ない、管理者としての資質を高め教育の改善と向上を図ることを目標においた。

(4) 研究発表

- ① へき地勤務教員の現職教育をどのようにすればよいか。

東白川郡鮎川村立西山小学校教頭・江原靖男氏
現職教育を充実させるために、出張研修と時間不足解決への努力という点で、公用バイクの購入による出張、家庭訪問等に時間の短縮を生みだした。学級事務・学校事務の処理の研修により時間を生みだし研修にあてている。研修方法として次のような形態をとっている。

ア. 校長、教頭と担任だけの授業の研究會

教頭が授業して、校長・担任が参観、担任の授業、これによる研究會を実施しているが評判がよかった。

イ. 校長、教頭の計画的教室訪問

たいへんでも月に1つのテーマを示して、毎週水曜日に教室訪問をし、訪問記録簿により担任と話し合いをしている。

ウ. 共同指導計画立案

単に指導案を提出させてというのではなく、初任者が多いので、授業案の書き方、授業予想を立てにくいという点から、教頭、校長と話し合いながら立案する。個別指導ができることで先生たちから喜ばれた。

今後の問題として、へき地ほど教職経験年数の少ない人が多いので、人間関係を重視しながら研修方法について研究をしていきたい。

- ② へき地学校において、視聴覚教材（テレビ、ラジオ）をどのように利用すればよいか。

石城郡三和村立差塩小学校教諭 高浜兼一
放送利用による学習効果の結果について次のように発表された。

ア. 「おいらの学級にもテレビがあるんだ」というよろこびとほりこりをもって学校にくる子どもが多くなった。

イ. 理科 「なんなんなあに」うさぎ、にわとりという動物の成長に非常に興味を持ち学習に効率化がはかられた。

ウ. 音楽番組が流れると楽しい雰囲気になり、誰とはなしに歌を口ずさみ、リズムをうち、のびのびと学習でき楽器の取扱いや口の開き方、声の出し方など自分でくふうするようになった。

エ. ラジオ図書館を聞くようになってから読書欲がでてきた。教師としても、能率的な指導法が勉強できるのでプラスになった。さらに前進させるために、親しませ見せることから、キーポイントをおさえ見せ方、子どもに定着させる指導のくふうが大切である。

- ③ へき地小規模学校における施設設備の改善はどのようにすればよいか。

大沼郡昭和村立喰丸小学校校長 鈴木鶴多

教育の近代化がさげばれている今日、あらゆる文化から遠ざかっているへき地こそ、どこよりも立派な施設設備の充実がなされなければならない。しかし、それは、一朝一夕にできることではなく、理想に一歩でも近づけようとする努力と、その学校の施設設備の実状を、つぶさに検討し進歩向上がなされるようくふうし改善していくことが、現下のへき地校の急務である。

ア. 改善の方針

- 学習の効率化をはかるための最低施設を整えたい。
- 既有施設設備の不備な点を改善し活用をはかりたい。
- 校地校舎全体が学習意欲をそそり、学習に役立つような学校環境を改善したい。
- 自作教具資料を工夫作成しちく積補充したい。